

成果指標				
成果指標	各勤務評定記録の合計点数／(勤務評定者数×40点)×100			
指標設定の考え方	年1回、各校長監理のもと作成される勤務評定(10項目・各4点満点)について、ALT全員が全項目満点となることを目標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100%	100%	0	0
実績	93.4%	92.8%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	中学校においては、指導計画に基づき英語教育の補助者として生徒の語学力向上に寄与した。また、小学校も巡回し国際交流学习を通じ国際理解教育の推進を図った。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本年度より1名増員して5人体制として、小学校・中学校における英語教育の充実を図っている。ALTの雇用については、自治体国際化協会を通じて行っており優秀でまじめな若者を雇用できているのでこのまま継続すべきと考えている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題